

12月議会議案審議

採決結果 町長提出議案一覧

条補正の報告人
例：9件
補正予算：9件
その他：3件
報告：0件
算：0件
事：0件
計 21件

議案番号	区分	議案名	審議採決の結果
議案第65号	条例	和水町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第66号	条例	和水町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第67号	条例	和水町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第68号	条例	和水町病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第69号	条例	和水町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第70号	条例	和水町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第71号	条例	和水町空家等の適正管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第72号	条例	和水町附属機関設置条例の一部改正について	原案可決
議案第73号	条例	和水町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第74号	補正予算	令和5年度 和水町一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第75号	補正予算	令和5年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第76号	補正予算	令和5年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第77号	補正予算	令和5年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第78号	補正予算	令和5年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第79号	補正予算	令和5年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第80号	補正予算	令和5年度 和水町下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第81号	補正予算	令和5年度 和水町病院事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第82号	その他	指定管理者の指定について（菊水ロマン館）	原案可決
議案第83号	その他	指定管理者の指定について（和水町福祉センター）	原案可決
議案第84号	その他	工事請負変更契約の締結について	原案可決
議案第85号	補正予算	令和5年度 和水町一般会計補正予算（第6号）	原案可決

【陳情等文書一覧表】

受付番号	受付年月日	件名	審査結果	付託委員会
286	令和5年11月17日	和水町議会の一部議員における守秘義務違反（情報漏洩）、期日遅延、除斥違反などの地方自治法および和水町各条例に対する度重なる違反および補助、公開委員会等において住民（実名）に対する名誉棄損などの議会の不適切運営を是正することを主旨する請願書	継続審査	令和5年 請願第1号 特別委員会

12月定例会賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載
○は賛成 ×は反対 -は欠席

議案	区分	議案名	議員名										
			亀崎清貴	千々岩繁	木原泰代	荒木宏太	白木淳	齊木幸男	坂本敏彦	竹下周三	秋丸要一	笹淵賢吾	高木洋一郎
議案第66号	条例	和水町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	※
議案第67号	条例	和水町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。

令和5年度 一般会計補正予算

一般会計補正予算総額

4億5,243万9千円を追加

総額 92億304万1千円

令和5年
12月
定例議会報告

12月定例会は12月4日～8日までの5日間の会期で開催され、令和5年度の補正予算などの21議案（条例9件、補正予算9件、その他3件）が上程され、それぞれ可決された。議員からの一般質問は、12月4日～6日の3日間11名中8名の議員が行った。

一般会計補正予算の主なもの

●重点支援地方交付金や地方創生臨時交付金等による経済対策関連事業	
①物価高騰対応生活者支援商品券給付事業（全町民に1人/1万円の商品券を給付）	96,240千円
②物価高騰対応生活者支援事業（繰越事業）（LPガス使用世帯1世帯/4,000円を給付）	11,000千円
③価格高騰重点支援給付金（低所得世帯（住民税非課税世帯）1世帯/7万円を給付）	100,621千円
●ふるさと納税事業（返礼品代12,452千円、手数料26,992千円、積立金50,000千円等）	100,000千円
●社会保障・税番号制度事業（住民基本台帳システム改修等）	5,447千円
●道路整備事業（岩線整備事業29,400千円等）	82,276千円

特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業会計	846千円	1,399,236千円
介護保険事業会計	12,706千円	1,496,823千円
特別養護老人ホーム事業会計	7,047千円	556,862千円
後期高齢者医療事業会計	494千円	203,890千円

企業会計補正予算

会計名			補正額		補正後の額	
簡易水道事業会計	収益的	収入	236千円	68,900千円		
		支出	830千円	64,364千円		
	資本的	収入	49,925千円	125,838千円		
		支出	46,325千円	142,030千円		
下水道事業会計	収益的	収入	249千円	196,032千円		
		支出	△4,167千円	182,112千円		
	資本的	収入	3,100千円	100,195千円		
		支出	0千円	130,906千円		
病院事業会計	収益的	収入	121,019千円	1,171,982千円		
		支出	22,305千円	1,068,884千円		
	資本的	収入	0千円	1,046,579千円		
		支出	0千円	1,050,963千円		

令和5年請願第1号特別委員会設置

和水町議会の一部議員における守秘義務違反(情報漏洩)、期日遅延、除斥違反などの地方自治法および和水町各条例に対する度重なる違反および補助、公開委員会等において住民(実名)に対する名誉棄損などの議会の不適切運営を是正することを主旨する請願書については、疑問点を解明するため、令和5年請願第1号特別委員会(5名)を設置した。

令和5年請願第1号特別委員会の委員は次のとおりです。

委員長 齊木幸男
副委員長 千々岩繁
委員 笹淵賢吾
委員 荒木宏太
委員 亀崎清貴

ズバリ聞きます!! 一般質問

12月定例会では8名の議員が一般質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。

千々岩 繁	<ul style="list-style-type: none"> ● 野良犬・猫による生活環境問題について ● 子育て施策について ● 江田交差点の道路改良について
木原 泰代	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒の健康や体力の状況と向上に向けた取り組み ● 不登校となっている児童生徒の状況と支援について
齊木 幸男	<ul style="list-style-type: none"> ● 町行財政運営及び給食費の無償化について ● 移住定住と子育てについて ● 社会教育行政について
荒木 宏太	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設の活用について ● 農林業政策について
白木 淳	<ul style="list-style-type: none"> ● 和水町消防団について ● 行政運営について
亀崎 清貴	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校跡地の利活用について ● 住環境の整備について ● 山林等の整備と鳥獣対策について
秋丸 要一	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会教育行政について ● ふるさと納税寄付金について ● 町づくりについて
笹淵 賢吾	<ul style="list-style-type: none"> ● 物価高騰対策について ● 農業振興について ● 公園づくりについて

総務文教常任委員会研修報告

視察研修報告

委員長 荒木 宏太

10月26日、27日の2日間、総務文教常任委員会研修を実施しました。1日目は大分県玖珠町で移住定住、空き家対策、公営塾について、2日目は福岡県柳川市で「むつごろうランド」の視察を行いました。

大分県玖珠町

● 県外からの移住定住政策

- ①玖珠町移住支援事業補助金(マッチング登録企業に就業しているなど要件に合致することが条件)補助として単身者60万円 世帯100万円(子育て世帯への加算として子ども一人あたり30万/人)
- ②玖珠町応援給付事業補助金(移住支援事業に合致しない場合)単身者・世帯20万円、子育て世帯30万円の支援

● 空き家対策

- ①4地区に集落支援員を配置し、空き家を調査。空き家マップを作成しており令和5年10月時点で599件である。現在も随時調査中である。
- ②空き家バンクについては、登録された物件の写真や登録情報をホームページに掲載している。
- ③県外からの移住者に対して、空き家活用事業補助金の制度があり、空き家バンク物件成約者であることを条件に、家財処分補助10万円、空き家購入補助100万円、空き家改修補助100万円を支援している。
- ④県内の移住者に対して引っ越し等の費用として「空き家活用補助金」20万円。空き家リフォーム補助金50万円、子育て世帯には80万円支援している。

● 玖珠美山高校生の為の公営塾「玖珠志学塾」

「学習塾」に対するニーズ調査によると、全校生徒の内47%(157名)が是非利用したい、できれば利用したいなどがこの事業実施の判断材料となっている。

玖珠志学塾の特徴

- ①教材代を含めてすべて無料、保護者負担が無い。
- ②一斉指導ではなく個別指導なので幅広い対応ができています。
- ③週6、(月～土)夜10時まで開講していることにより好きな曜日や時間帯を選べる。
- ④講師陣は町に定住し、3名体制である。(地元雇用1名)
- ⑤高校に隣接し駅に近い為、安心である。



福岡県柳川市

むつごろうランドの総面積は15,951平方メートルで、農林漁業体験実習館をはじめ、多目的広場、ふれあい広場、築山広場、自由広場、エントランス広場、親水エリア、キャンプバーベキュー広場など様々なスペースやエリアを設け、数多くのイベントを実施されており、令和5年度の入園者数は4月から9月までの人数で39,784人、前年の10,886人に比べて3倍以上の入園があり需要は伸びている。

むつごろうランド内の大型複合遊具設置については子育て支援において子連れでも出かけやすく楽しめる場所を重要と考えている子育て世代は多いものの、柳川市以外の規模が大きく遊具や設備が充実した公園を利用している現状である。市内公園の整備や充実を求める意見が多いことにより令和3年「柳川市公園遊具等改善計画」の策定により大型遊具の設置が実現した。





木原 泰代議員

和水町の児童生徒の健康や体力の状況と向上に向けた取り組みについて

木原 児童生徒の健康や体力状況の評価は。

教育長 肥満度20%以上の町内の小学生は11.8%、中学生は12.1%。県・全国平均より4つの学年で上回っている。裸眼視力1.0未満の割合は小中学生ともに全国より低い。虫歯の保有率は全国平均より低い。歯垢付着や歯肉炎の要観察・要相談の割合は課題。体力の状況は、小学5年生、中学2年生対象「全国体力、運動能力、運動習慣調査」では、小中学校とも全国平均を若干上回っている。熊本県体力・運動能力調査で、反復横跳び、ボール投げが県基準値を下回っている。

木原 健康や体力向上に向けた取り組みは。

教育長 健診結果通知、保健だより、フッ化物洗口、歯の教室、歯の染めだし、歯磨きカレンダー等の取組を行っている。肥満傾向の児童生徒に関しては、個別に指導。体力向上に向けた取り組みは、体育の授業に加え、レクリエーションやランニング時間の設定等工夫して取り組んでいる。

木原 小学6年生対象の血液検査の状況は。

保健子ども課長 6年生の7割49名が受検し、血圧や血糖・脂質の保健指導対象者は13名(26.5%)であった。

木原 血液検査の結果の説明方法は。

保健子ども課長 保健指導対象者の親子に結果や日々の生活を振り返りながら、体の中で起こっていること

と一緒に確認している。

木原 45%利用の放課後児童クラブ活動内容は。

保健子ども課長 放課後の安全な居場所と教育的な配慮、遊びや体力向上の支援を行なっている。保護者の希望や、児童の健康体力の実態を共有し支援を検討していく。

木原 放課後子ども教室等ボランティアで活動されている方々への財政支援は。

社会教育課長 現在財政支援は行っていない。今後実態を把握して検討していく。

その他の質問

- ①不登校の児童生徒の人数と支援について
- ②不登校児童生徒の居場所について
- ③相談窓口の総合支援センターについて



菊水小学校 人権の花運動「風船飛ばし」



野良猫による生活環境問題について

千々岩 飼い主のいない猫を生み出さないための対策や対応について問う。

町長 飼い主がいない動物に対する恣意的な餌やりなどの行為が動物による害の増加やみだりな繁殖など、動物の愛護管理上、好ましくない事態を引き起こしている。町の対応・対策としては、県と協力しながら、学校、地域、家庭などにおける啓発活動、広報活動を通じ、周知を図る必要がある。また、飼い主のいない猫の不妊手術に関しては、県の助成事業もあるので、併せて町民の皆様への周知に取り組む必要がある。

千々岩 どうぶつ基金という団体があるがご存じか。

町長 存じている。

千々岩 当団体は、さくらねこ無料不妊手術事業に参加し、地域猫活動を行うボランティア団体などと連携してTNR(トラップTrap/捕獲し、ニューターNeuter/不妊去勢手術を行い、リターンReturn/元の場所に戻す、その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットする)事業が行われている。町もこの団体に登録してもらいたいが如何か。

町長 どうぶつ基金さくらねこ制度は、動物愛護の観点から手厚い支援で、かつ有効な手段と認識し



千々岩 繁議員

ている。登録は随時可能であるので早急に申請して、町民の皆様への周知を図り、飼い主のいない猫を減らす取組に努めていきたい。

千々岩 地域猫活動(飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を実施し、周辺住民の理解を得た上で、その猫を地域猫として地域で餌やりやトイレの設置、ふんの清掃などのルールを決めて、一定の管理の下、見守る活動)を住民の方々、ボランティア団体等を作って活動していただきたいと思うが如何か。

住民環境課長 地域猫活動を推進している自治体もある。地域猫に対する理解、協力という要請については具体的な考えはない。

和水町だけの問題ではないので、今後、県を含めて、地域に有明地域動物愛護推進協議会という組織があるので、広域で知恵を出し合いながら、今後検討を行っていきたい。

その他の質問

- ①子育て施策について
- ②江田交差点の改良事業について





荒木 宏太 議員

情報公開や住民参画により住民自治を根幹とし、町民主体のまちづくりを!

荒木 三加和温泉交流センターとあばかんハウスが同時期に温泉の利用していたこともある。施設を最大限に活用していただきたい。現在、月に6回サービスされていることから、これを町民に開放できるとすれば住民サービスに繋がると思うが町長の考えは。

町長 1回の経費が大きく赤字の事業となっている。使う分だけ赤字になるというのが現在の実情、費用対効果等を考えると現在のままの介護サービスとしての利用が最適ではと考える。

荒木 町有財産の利活用に伴う公募型プロポーザルの審査委員の構成を問う。

まちづくり課長 行政管理職の計5名で構成している。

荒木 プロポーザルの審査委員に地域の方や地域団体は入ってない様である。又、プロポーザル質問書には「購入に向けて検討したいが、参加表明、企画提案等の期限がタイトのためスケジュール延長など検討できないか」といった質問があった。随意契約にもなる為、公募型プロポーザルの期限等を規定するガイドラインが必要ではないか。

町長 9月の全員協議会では特段の指摘は無かったと認識している。しかしながら今後、公募型プロポーザルを実施するにあたってはガイドライン等を設けて実施することも考えなければならない。



荒木 町有財産の売却に至る根拠となった付属機関等の答申があったのか。

まちづくり課長 答申という流れは無いが、和水町財産処分等検討委員会で審議し方向性を決めている。

荒木 公共施設の廃止については附属機関等で町民、議会と行政、協働で協議することが、住民主体のまちづくりとして当然ではないか。

町長 公共施設を売却する際には当然、地元の住民の皆様の見解等を参考にしながら進めていきたい。

荒木 山太郎祭の農産物出品方法について生産者が出品しやすい配慮が必要ではないか。それから、売り場スペースが小さくなったのではないか。

まちづくり課長 農林産物品評会の出店数は年々減っている。どうしても運べない方については職員が行くようにしている。テントの規模については出品数に応じて準備している。



子育て支援基金は 給食費の無償化は 移住定住プラン新規設定や見直しは 電子図書館は

齊木 子育て支援基金の計画は。

町長 積み立て目標は8億円。この財源で今後10年間、子育て支援を実施していく。

齊木 学校給食費の無償化いつまで続けるのか。

町長 国の動向も注視し、最低10年は継続した支援を行っていく必要がある。

齊木 子育て支援は、他自治体が行っていないからしないではなく、効果が期待出来るなら町独自でも新しい施策をどんどんやっていくべきでは。

町長 4月から新たな事業がスタートした。これをしっかりと進めていく。

齊木 移住定住促進プランの数値目標は。

まちづくり課長 具体的数量は定めていない。

齊木 南校区では道路改良中の牧野蜻浦線、新しい道路の江田高野線、玉名～日平～牧野までの牧野小田線、金栗四三生家前の西光寺中林線や改良中の岩線、これらの新しい道路周辺や地域を限って新築住宅未来支援金を上乗せするプランを考えては。



改良中の牧野蜻浦線ボックスカルバート(橋)

町長 地域ごとのプランは考えていない。

齊木 電子図書館の一般図書の貸し出しは。

社会教育課長 和水町は133冊。

齊木 玉名圏域での貸し出しは1820冊。少し寂しい。会議の際に貸し出しが増えるよう話しては。

社会教育課長 会議等で情報共有を進める。

齊木 町図書室で大河ドラマ「いだてん」の映



齊木 幸男 議員

像資料を所蔵し、町民に利用して頂くべきでは。

社会教育課長 協議したい。

齊木 江田船山古墳発掘150周年記念シンポジウムの記念誌。閲覧・貸出・デジタル閲覧は。

社会教育課長 両公民館と、デジタル化したものはホームページ等で閲覧できるようにする。

齊木 邪馬台国が発見されたら、文化・観光にすごい影響がある。町の資料はデジタル化して、永久保存と閲覧可能にし、世界にも発信していくべきでは。

社会教育課長 できるだけ早い段階でデータ化し、閲覧・活用できるよう努める。



スマホで見る玉名圏域電子図書館

玉名圏域電子図書館の一般図書貸し出し冊数

和水町	玉名市	玉東町	南関町	合計
133冊	1,376冊	49冊	262冊	1,820冊

(11月1日時点)



亀崎 清貴 議員

旧小学校の跡地利用の状況は!!旧春富小に春富集会センター機能移転へ!!
板楠地区の家庭用水を安全に確保するために!!
住宅用蓄電池補助や森林整備で、災害に強いまちづくりを!!

亀崎 旧南小、旧春富小、旧緑小学校の今後について問う。

町長

旧南小	【現在】事業者と売買契約 3年以内に事業改修(約1年猶予あり) R5夏頃南校区住民へ現状報告について送付 【今後】事業開始時期の調整を行う
旧春富小	【今後】春富集会センターの機能移転 サテライトオフィス等として民間活用を検討
旧緑小	【現在】10年間賃貸借契約(令和6年10月末まで) 【今後】売却が賃貸借を検討

亀崎 旧春富小を金栗四三氏、秀島由紀男氏などの遺品を展示したり町内の芸術家の作品を展示するスペースを設けて、交流の持てる環境を整えられないか。

町長 現在、金栗生家屋根の改修を行っている。4月から新たな形で展示できないか担当課と協議している。



亀崎 板楠地区専用水道の利用状況と今後の整備について板楠地区の住民から「水質が悪い」というお話を伺うが町が補助し毎年実施している水質検査の状況は。

住民環境課長 検査件数は直近3年間で6件。うち2件が不適合であり、不適合の家庭へは水質浄化装置の設置と補助金について案内している。

亀崎 三加和支所等や板楠団地が使用する専用水道を住民へ供給することは出来ないか。

町長 新たに水道施設を造る場合かなりの財政負担が生じる。慎重に地元の意見を聞きながら進めていく必要がある。

亀崎 住宅用太陽光への蓄電池設置補助について災害に強いまちづくりの観点からも整備出来ないか。

町長 県内では令和5年度45市町村中10市町村が実施している。それら自治体を参考に財源等を勘案して今後、検討してまいりたい。

亀崎 山林等の整備について町では竹粉碎機を購入し、里山再生と森林荒廃を防ぐ取り組みを実践されようとされているが、竹粉碎機を運搬する上で必要となる2tトラックを町で導入する考えはあるか。

農林振興課長 今後検討したい。



その他の質問

- ①町の専用水道の利用状況と今後の整備
- ②プラスチックの削減と分別について
- ③有害鳥獣対策と今後の取り組みについて



和水町消防団について問う!

和水町消防団員数の推移

	消防団条例定数	実員数
平成18年(合併時)	640人	624人
令和元年	500人	488人
令和2年	500人	470人
令和3年	500人	471人
令和4年	500人	432人
令和5年	450人	418人

白木 新入団員の獲得、団員不足の改善に向けての取り組みや今後の方策を問う。

町長 人口減少による過疎化、若者流出による新入団員の減少、団員の高齢化を要因として、合併時から約200人団員数が減少している。地域住民の安心安全な生活を守る上で消防団員を確保することは重要であると認識している。各分団において、新入団員の勧誘を行っており、町広報紙においても消防団員募集について掲載している。今後も引き続き、消防団員募集のポスター掲示や町広報紙、町ホームページ、公式LINEへの掲載、各種イベントでの広報活動などを通して、新入団員の確保や団員不足の改善に向けて周知を図っていきたいと考える。

白木 現在、条例では定年が50歳となっている。「延長するのは」と団員の中で話を聞くが真意はどうか。

町長 定年延長について考えていない。消防団の幹部会議などでも協議は一度もしていない。

白木 消防団を退職された方による予備消防を導入してはどうか。

総務課長 10年くらい前から幹部会議の中ではそういう話があったが、報酬・事故やケガの補償について十分話す必要があり、本当に団員が少ない場合は機能別分団等の導入も必要と認識している。

白木 各地区に自主防災組織があるが、そもそも組織を知らない住民、自分が何の担当か知らない住民が多い。町からの周知・指導はできているのか。



白木 淳 議員

総務課長 毎年、最初の区長会をお願いをし、各地区の名簿を提出していただいている。運用の仕方、訓練の仕方等については確かなチェックはしていない。区長会等を通じて各地区の自主防災組織の内容を区民の方までお伝えしていただけるような体制づくりを考えていく。

白木 消防積載車等はマニュアル車が多いが、オートマ車限定の免許しか取得していない団員もいる。入団の付加価値として、限定解除の免許取得に消防団員能力活用免許取得に対する補助金を助成できないか。{消防団員能力活用免許取得に対する補助金は2級小型船舶操縦士免許と自動二輪免許が助成対象}

総務課長 補助金の目的が災害現場での活動の際、能力を一番発揮するための免許取得の補助であり、消防団から要望があつて要項を作成している。団員確保のための手段としてこの要項を活用することは考えていない。

白木 団員不足を本気で改善するのであれば、女性団員も普通に訓練を受け、火事の際にも出勤してもらう体制を作るべきではないか。

総務課長 現在、女性消防団員は15名。火災予防週間や出初め式などの行事に参加いただいている。機能別分団のようにして、現場での交通整理などいろいろなことができると思うので、女性消防団の活動する場面をもっと増やして行って、充実した消防団活動にしていきたいと考えている。





笹淵 賢吾 議員

食料自給率は主要国最低水準 町の取り組みは子どもからお年寄りまで楽しめる公園を物価高騰のなか町独自の町民の暮らし支援を

笹淵 「国の食料・農業・農村基本法」の見直しについて町長の考えと世界で勃発する戦争や温暖化、気候危機の進行で食糧不足は深刻です。見直しの内容は主要国最低水準の食料自給率、基幹的農業従事者の減少、高齢化などの変化を羅列しているが、その原因については触れていない。原因を明確にしなければ、なぜ食料自給率が低下したのか、明らかにならない。WTO（世界貿易機関）協定やTPP（環太平洋連携協定）等で輸入自由化を進めて牛肉・オレンジ、野菜等の輸入拡大、さらに米まで輸入し、ほとんどの農家が打撃を受けてきたことも明記されていない。食料自給率向上には農産物の価格保障、所得補償が必要。町の食料自給率引き上げの取り組みは。

町長 この基本法は制定から約20年が経過し、世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや地球環境問題への対応、海外の市場の拡大など農業を取りまく情勢が制定時には想定されなかったレベルで変化しているため基本法を検証し見直しの議論が行われている。

日本の食料自給率は昭和40年には73%あったが今は38%に落ち込んでいる。食生活の変化が大きな原因の一つとされている。町は自給率を上げるため地産地消の推進、食育活動等に努めている。



笹淵 公園づくりについて、子どもが遊べる遊具の設置等の計画は。

町長 来年度予算に向けて菊水ロマン館周辺と三加和温泉周辺が適地と考え柵を作り、ユニバーサルデザインの遊具を置きたい。

笹淵 柳川市は令和2年に市民に公園についてアンケート調査を行いむつごろう公園を作った。本町は町民アンケート調査を行って計画を策定するのか。町民の声は反映されているか。

まちづくり課長 令和5年1月21日に開催、参加者のお母様方9人に話を聞いた。

笹淵 若い子育て世代の声は、駐車場があり授乳室やおむつ交換場所があり筋力を鍛える遊具、子どもからお年寄りまで楽しめて公園の周りにカフェがあると人が来るのではないかなどです。県内の人気のある公園を参考にしたいはどうか。

町長 出された意見を参考に進めていきたい。



玉東町オレンジ公園

笹淵 物価高騰の中、町独自で町民の暮らしを守るため4つ提案する。

- ①大学生や専門校生のいる世帯に一人当たり5万円支給
- ②年齢を問わず保育料無料化
- ③高齢化支援として乗り合いタクシーの半額補助
- ④肥料代、ビニール代、燃料代など増加した分の補助

町長 色々な事例を研究しながら今後の政策に反映させたい。慎重に検討したい。

公園整備は少子化対策の切り札となるか

町長公約にある少子化対策の公園整備について

公園はコミュニティ形成、健康増進、子ども子育て支援、地域経済の活性化、歴史文化の検証や継承など地域の様々な社会課題に対する町民の活動の場として活用され簡単に言えば公園とは町民が集い憩いスポーツやレクリエーションや散策の場として公開された場所と言われています。



秋丸 少子化対策の公園整備の目的は

町長 3世代が集える公園の整備として、交流や健康づくりの場として、そして遊具や健康器具を設置した誰もが気軽に立ち寄れる地域に親しまれる公園を整備したい。また子育て世代を中心に小さいお子さんが遊べるような遊具がある公園の整備が望まれている。

秋丸 場所についてはどのような計画をしているか。

町長 菊水、三加和地域にそれぞれ1箇所を予定している。菊水地域は道の駅駐車場の南側段上りの東屋があるところ、三加和地区は以前金栗ミュージアムがあったところを計画中である。

秋丸 公園整備の費用と財源の計画は。

まちづくり課長 一般財源を予定している。

秋丸 面積規模としては。

まちづくり課長 菊水地区が1000㎡、三加和地区が1500㎡ぐらいになる。

秋丸 その面積にどのような形態の公園を作るのか。その内容は。

町長 まず芝生で子どもたちが裸足で歩けるような整備を予定している。またその中に遊具、植栽。



秋丸 要一 議員

木を植えて木陰を作るということで現在話を進めている。

秋丸 子どもが公園で遊ぶとどのような効果があるのか。町長の認識を問う。

町長 目指す公園とは、3世代が集える公園の整備ということを目指している。子ども同士、お年寄り同士が公園の中でふれあいというのが生まれていく、人と人とのつながりというのが生まれていくものと認識している。

中学校休日部活動の民間移行の取り組みについて

秋丸 いつからスタートするか。

教育長 令和6年度からの実施準備を進めている。

秋丸 今後どのような課題があるか。

社会教育課長 指導者の確保と地域の受け皿の問題、指導者が行う時間の問題等多くの課題がある。

秋丸 休日、部活動指導に携わる先生方や民間の指導者の報酬についての対応は。

社会教育課長 試行期間として2時間から3時間については1500円を基準に考えている。

秋丸 指導者の確保はどのようになっているか。

社会教育課長 現在中学校の部活で指導されている外部指導者の方を予定している。



議長全国大会に出席しました

令和5年11月28日(火)～30日(木)まで東京都内の全国町村会館、NHKホールで開催された第67回町村議会議長全国大会及び県関係国会議員への要望、意見交換会に高木議長が出席しました。少子化対策の推進や道路網の整備促進等の要望を行いました。



令和5年度 市町村議会議員研修に参加しました

市町村議会議員研修が、1月10日(水)～11日(木)で滋賀県大津市の全国市町村国際文化研修所で開催されました。全国の自治体から153名の参加があり、和永町からは、白木 淳議員、亀崎清貴議員、千々岩 繁が参加させていただきました。研修では、初日の午後から2講義、2日目の午前中2講義が行われました。

【講義1】 地方自治体の財政運営と議員の役割

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授 稲沢 亮祐 氏

【講義2】 自治体財政指標の見方

有限責任監査法人トーマツパートナー公認会計士 小室 将雄 氏

【演習】 財政指標分析に関するグループ演習

有限責任監査法人トーマツパートナー公認会計士 小室 将雄 氏他4名

【講義3】 今後の健全な行財政運営に向けて

有限責任監査法人トーマツパートナー公認会計士 小室 将雄 氏

地方財政の現状と自治体財政健全化の概要を踏まえ、総務省の令和3年度財政状況資料集から3つの自治体の現状・課題・将来的なビジョン等を数字から読み取る演習を行いました。初めて参加したが、健全団体にこそ、求められる議員の監視、財政健全化団体の議員になったつもりで、予算審議に臨むことが求められることをこの2日間で学びました。(文責 千々岩 繁)



町村議会広報研修会に参加しました

令和5年11月9日(木)に熊本県市町村自治会館で開催された令和5年度町村議会広報研修会に参加しました。議会広報ファシリテーター・熊本大学客員教授の越地真一郎氏より議会広報作成のポイントを学んだ後、美里町、和永町、大津町の議会広報について意見交換を行いました。当町令和5年5月号の議会だよりについて、リード文(記事の要約)、傍聴記に対する高評価の一方、写真の使い方、討論の報じ方等にアドバイスをいただきました。

また、参加自治体や全国上位の議会広報を拝見し、企画、編集の仕方、住民の声の反映等参考になることが多々ありました。研修での学びを活かし、魅力ある和永町議会だより作成に努めてまいります。



議会傍聴をお待ちしています!



和永町定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、議案審議、一般質問が行われます。

日程や一般質問等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。

皆さんのお越しをお待ちしております。

なお、本庁、支所のロビー、各公民館でも生中継でご覧いただけます。